

東日本大震災関連「福岡教区・被災者支援室」

「福岡教区・被災者支援室」への募金をお願い
 * 福岡教区に避難された方々への支援・緊急に援助の要請を受けた時のための募金
 * こちらへの募金は教会会計で使用している郵便振込みの用紙でお願い致します。
 ■口座番号：01760-6-20729
 加入者名：カトリック福岡司教区
 ■ご送金くださる時は必ず、通信欄に『支援金』と明記してください。

仙台教区事務局からのお願い

◎ボランティアを募集しています！
 ■連休明けからボランティアが減っている
 ■仕事は、被災した家の片付け、泥だしが主ですが、各家庭の大切なもの（写真・位牌・仏壇など）の洗い出しのような50・60代の方々でもできるような軽作業も出てきています。
 ◆福岡教区からすでに10人の司祭と7人の男女信徒がボランティアに参加しました。

仙台教区二本松教会信徒会長からお願い

◎福島野菜を買ってください！
 ■福島県に野菜を提出し放射能検査を受け、安全が確認された物だけを販売しています。
 ■ネットで注文できます。
<http://www.nihonmatsu-farm.com/>
 ■教会でまとめて購入いただき、分配していただくこともできます。
 ■畑で収穫した翌日には発送できます。
 ◆みなさんで「風評被害」を打破していただきたい

復活節第2主日（神のいつくしみの主日）である5月1日（日）、カテドラル現聖堂



ミサの初めに宮原司教は、このミサの中で3つのお祝い

の献堂25周年を記念するミサが宮原良治司教の司式で執り行われた。午前中、天空が覆っていた雨雲が取り払われ、爽やかな晴れ間が広がったこの日、教区内の各地から司祭をはじめ、信徒や修道者600人余りがカテドラルに参集した。午後2時、アンゼラスの鐘が荘厳に響き渡る中、カテドラル現聖堂の献堂25周年記念ミ

1986

カテドラル現聖堂の献堂25周年を祝う

2011



宮原良治司教認可
 発行所 福岡司教区本部
 福岡市中央区浄水通 6-28
 発行 人
 カトリック福岡司教区
 編集人 森山信三
 TEL 092-522-4059
 FAX 092-523-2152
 振替口座 01760-6-20729
 カトリック福岡司教区
 定価 一部60円

6月の意向

教皇様の意向のために祈りましょう
 【一般】司祭の証し
 【宣教】宣教師の召命
 【日本の教会】日本における福音宣教の推進

1986年4月13日、この

サが始まった。ミサの初めに宮原司教は、このミサの中で3つのお祝い

を記念することを明確にし、①主のご復活 ②カテドラル献堂25周年 ③同日、バチカンにて挙行されるヨハネ・パウロ2世前教皇の列福式に合わせて祈ることを促した。説教の中では、司教は日本の思想家たちが、キリスト教イسلام教などに対して、「一神教の弊害」を指摘していることにふれた。「自分たちの神様を絶対化するあまり、他を排斥する。こういうふうな思想家たちは捉え難い。しかし、わたしたちの神様は三位一体の神様であり、愛の神様、交わりの神様です。わたしたちは神様との神秘的な交わりの中で育まれ、かつ、目に見える交わりをも大切にします。献堂記念とは、この交わりを記念することに他なり

ません。かつて、ヨハネ・パウロ2世教皇が来日されたとき、教皇は、聖職者、カトリック信徒、エキムメニカル、諸宗教代表者、大使・外交官、青年の大集会等、様々な人と次々に集会を持たれました。そして、殉教者記念ミサの結びにおいて、『みなさん、よくがんばりました』と語られました。これは、歴史上の殉教者たちに向けられた言葉であるとともに、現在、また未来の日本の信徒に向けて語られた言葉でもあります。ここにわたしたちの信仰が交わりの宗教、愛の宗教であることが明確に表わされています。交わりを大切に、愛を大切に、このように決意を神様にお捧げするようにいたしましょう』語った。

ミサの結びにおいて、司教は献堂25周年に際し、教区の信徒へ感謝の言葉を述べた。とりわけ、大名町教会の信徒に対して、日頃、清掃や管理等で頻繁にお世話になつていると、深く感謝するともに、今後ともよろしくお願ひしたいとの言葉があった。

これを受けて、大名町教会主任の櫻井尚明神父から、司教に向けて、「今後とも、より寛大なご理解を」と、会衆に向けて、「今日は記念の品を準備するのすっきり忘れてしまいました。ヨハネ・パウロ2世のカードを配りまして、どうぞお持ち帰りください」という言葉に、参加者から和やかな笑いが広がり、この日の記念ミサは閉式を迎えた。

また、大震災の教区の対応として避難者の受入れ、また今後ボランティアの派遣予定などが報告された。

2011年度第1回目の司祭評議会開催

5月10日、11人の司祭が集い、2011年度第1回目の司祭評議会が開催された。最初に報告事項として、生涯養成委員会より2月に雲仙で開催された司祭生涯養成研修について今後のため、場所の選定、研修期間など今後に向けて、いくつかの検討事項が挙げられたものの第1回目として、全体的には有意義な研修となったことが報告された。

心の書簡

森山信三 神父

「心」という語の聖書的な理解によれば、イエスの聖心は、イエスの心臓を意味すると同時に、特にイエスの愛を意味している。十字架を貫かれたこの象徴である「心」という理念に結びつけることによつて、中世においてイエスの聖心への信心が芽生えた。この信心は、17世紀にマルグリット・マリー・ア

次に議題として、懸案となっていた教区組織の見直しについて、提出されていた見直し案が承認された。それによると、教区の決議機関を明

聖座が2教区に新司教を任命

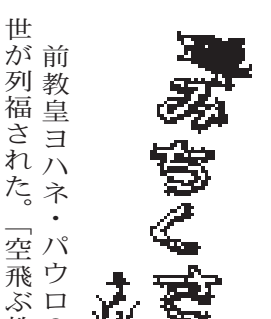
2011年3月25日、教皇ベネディクト16世は、溝部脩高松教区司教の退任願いを受け、大阪教区司教の使徒ヨハネ・アウグスティノスに任命することを発表した。また、空位が続いていた大分教区司教に長崎教区司祭のパウロ・浜口末男神父を任命することが発表された。

聖心の信心

ラコックへのイエスの出現を機に大いに発展した（新カトリック大辞典より）。イエスはまさに十字架の上で、心臓を貫かれたが、それは、人間に永遠の命を与えたという神の愛の現れだと言われる。ところで初金曜日

改めてこの初金曜日の信心を大切なものとして見直しはどうか。毎月の初金曜日にミサに与り、被災者のために祈り、さらに聖体に対する信心を深めるよい機会だと思われる。イエスの人類に対する愛は、変わることもなく注がれ続けている。たとえ人間の眼にはそう映らなくとも、神はキリストを通してすべての人に命を与えたいと願っておられる。様々な信心業が、昔よりも廃れてしまっていると思われる。今、今一度、教会の典礼とともに生き、伝統的な信心業を再考してはどうだろうか。西新教会主任司祭

前教皇ヨハネ・パウロ2世が列福された。「空飛ぶ教皇」と言われたようにバチカンにとどまることなく、世界中を訪問された。日本には、1981年に来られ、小生は東京で教皇ミサに与り、この年神学校に入った。忘れられない年である。同年5月教皇はサンピエトロ広場にて、あるトルコ人に銃撃された。銃弾は2発命中し、ヨハネ・パウロ2世は重傷を負ったが、奇跡的に内臓の損傷を免れ、一命を取り留めた。事件当日はフアテイマの聖母マリア出現の記念日であったため、教皇は「聖母が弾をそらして下さった」と語っていたという▼前教皇の聖母に対する信心の深さは多くの人が知るところであるが、この後の教皇の聖母は、聖母が導いてくださり、まさに聖母とともに歩まれたのだと思う。TORUS TUDUS（すべてはあなたのもの）をモットーとされたように絶えず聖母に呼びかけられていたであろう▼今年はずいぶん来日30年、この間、司教団はナイスを開催し、福音宣教に向かつて日本の教会も大きく変貌を遂げるであろうと期待された。しかし、その成果は目に見えるものとなつていないと言えないが、福者ヨハネ・パウロ2世と共に聖母が日本の教会を導いて下さることを願う▼聖母は生涯、「剣で刺し貫かれる」経験された。それは「多くの人の心にある思いが露わにされるため」（ルカ2・35）だとルカは言う。大震災を経験し、まさに剣で刺し貫かれた私たちも、私たちの真の思いが露わにされ、父なる神のみ旨を捜し求めながら、聖母に委ねて歩んでいこう。（M）



平田敬神父司祭叙階50周年を祝う



平田敬神父様を慕って各地から大勢が参加

澄みわたる五月晴れとなつた5月8日、ヨアキム平田敬神父の叙階50周年のミサが、宮原司祭主司のミサが、超える司祭団、そして聖堂を埋め尽くした信徒とともに盛大に捧げられた。

説教の中で、平田神父は、ある日、神学生の頃ラテン語の試験で、授業で学んでいないところから出題されたことに不平を言ったら、担当教授より「たとえ範囲外から出題されても正確に答えることが出来る生徒が真の実力ある人だ」と言われたエピソードを紹介し、司祭に代わって突然説教するように言われたことをユーモアを交えて述べた。

聖書勉強に通い始めて3年、好きな聖句をたくさん発見出来ました。

みことばの広場!

聖霊によって神の愛が私達の心に注がれている
ローマ書5・5

中でもローマ書5章5節は感動します。私は幼少の頃からマリア様を意識していまし

またミサ後の祝賀式典では、「皆様に会って、皆様から励まされ支えられて、今日のこの日を迎えられることをありがたく思う。左に転んだら司祭団が支えて下さり、右に転んだら信徒が支え、後ろに倒れたら皆さんがそっと支えて下さったおかげで、今日まで司祭職を続けることが出来ました」と述べ、微笑みと笑い声に包まれた式典となった。

続いて幼稚園に場所を変えて行われた祝賀会では平田神父を慕う各教会から駆けつけた信徒であふれ、終始和やかに進められた。

「神父様は本当に素晴らしい方でした」と、「神父様のおかげで今の私があります」とか、「60年、70年まで頑張つてほしい」などの声が聞かれた。

芥川龍之介とキリスト



芥川は、漱石、鴎外につぐ「めでたし聖寵・・・」と毎日欠かさずことなく唱えてきた祈りですし、御絵が祭壇の目立つ所にありましたから、お優しくお美しいお方という印象が焼き付いています。

そして、いつしか私の憧れとなり、見つめるだけで心が熱くなる思いがしたものです。あたかも、その場におられると錯覚するほど視線を感じていました。

ある時、「マリアの心を見つけると聖霊はその心に宿る」また「私たちに与えられた聖霊によって神の愛が私達

文豪としてよく知られている人である。私は中学校時代、国語の教科書で「トロッコ」や「蜘蛛の糸」で初めて彼の名を知った。その頃は、文学とは何か、文学がどんなに多くの人に影響を与えるものであるかを全く知らなかった。

長じて、彼の小説を読むうちに「西方の人」「続西方の人」という約40頁にわたるキリストを中心とする福音書の解説があることを知った。

小説家が書いたものであるから、「ヨセフはどうひいきみに見ても、つまり余計者の第1人者である」とあつても驚かなかつた。一体彼は何故そんなものを書いたのか。昭和2年7月24日未明、夜半から雨の音を聴きながら、龍之介はヴェロナーヌ、及びジャールの致死量を仰ぎ、35歳の若さで死の旅へと立つ。

枕頭には、大正5年発行の旧新約聖書が開かれたままになつていた。死を前にして、彼は聖書に接近する。聖書は若き日、彼の教養の書として存在したが、ますますキリストは、彼の前に大きく立ちだかっている。彼はまざまざとわたしに呼びかけるキリストの姿を感じ、ひたすら、福音書の中に描かれたキリストの姿を追っていく。7月23日の心に注がれている「(ローマ書5章5節)の聖句は、どれほど私に感動を与えたか・・・わかっていただけだ」と思っています。

マリア様と聖霊はそれ程よく似た感覚がありませんか？ミサに与るとき、肉の衣を脱ぎ捨て、純粹に魂だけに成り主招かれ、主とともに御国という宴会場へ入ります。同席する方々に心豊かに愛を込めて、父と子と聖霊の輪(コムニオ)に入ります。

の日付のあるこの前日まで書き続けたと思われ。その最後は「我々は、エマオの旅人たちのような我々の心を燃え上らせるキリストを求めずにはいられないのであろう」であつた。

付則 葬儀には、泉鏡花、小島政二郎、里見弴等の弔辞が読まれた。菊池寛の弔辞は、参列者の涙を呼び、満場すずり泣きの声に満ちたという。森山敬三大名町教会信徒

クルシリオは一生に一度のチャンス

近年、ゴールデンウィークには外出しないと決めていました。今年は5月に計画したことを成功させたいと思つていました。家事からの解放・祈りへの集中・霊性を深める必要を感じていました。

教会報に良き知らせがあるのを探していると、「クルシリオ」の文字が目に入りました。水巻教会の竹森神父が講師なので、同教会員として心強く思いました。

場所は馴染み深い「福岡黙想の家」。参加費も教会からの援助がありました。随分安く、感謝しています。随分安くなり、感謝しています。随分安く、感謝しています。随分安く、感謝しています。

る状態です。スタッフのきめ細かい運営に、心を委ねることができました。小さなグループで仲間と学び、作業を成し遂げていきました。指導者の話が、その軸になりました。キリスト者は神に任せて生きる自由(信仰の真髄)を与えられています。私たちは気付きの力を養い、妬み・嫉みと感謝・愛の2本の分かれ道への選別力を磨き、信心・研究・活動へと飛躍します。

祈ること・笑顔も立派な宣教活動です。死の床にいても、思いやる祈りができる信者として終わりを迎えたいと思えます。

3日目は宮原司祭の御ミサでした。終了者の方々も参列されて、教区が力を入れていくクルシリオであることが徐々に分かってきた次第です。

小教区に帰ったら、霊的花束を用意できるでしょうか。来年度参加される方へ贈りたいと思います。

また、今の活動を継続し、新たにやりたいことも主任司祭に相談しようと思つています。このやる気に、消費期限はあるのでしょうか。

吉永昌子(水巻教会信徒)

クルシリヨに参加して

涙は精神の感動や諸刺激によつて、分泌が盛んになると言われています。

クルシリヨ期間中、私は4.5回位涙がとめどもなく流れる場面がありました。一つは各教会や修道会や婦人会などからお祈り、犠牲、ロザリオ、ミサなど数千回にも達する霊的花束が多くの方々から寄せられたことでした。その時、マザー・テレサが跪いて、祈っている姿や、イエスキリストがゲッセマニの園で血の汗を流し、父なる神に祈つていた姿が目蓋に浮かび、自分つまらない者のために祈つてくれたのだと思うと、年甲斐もなく、感動で涙を止めることが出来ませんでした。

その他は、これから参加する人が味わっていたかと思つて、場違いな所に来たと思つていた人も、他の人も日増しに感動の極みに達していったのです。参加した皆、この場所につづいていきたい、帰りたいと言っていました。

に置かれていたのではないのでしょうか。それが、いかに居心地がよくて、すばらしくて人間が本来求めている至福のときというものをこの黙想の家で実感出来たのです。もし、かして「天の国」というのは、こういう状態に居ることを言うのではないだろうか、と思つていました。

「心の貧しい人は幸いです。天の国は彼らのものだから・・・、悲しむ人は幸いです。天の国を住み家として、天の国に願ひながら黙想の家を後に各小教区に派遣されたのでした。

五輪勝義(西新教会信徒)

福岡教区召命部会のお知らせ

2012年度日本カトリック神学院入学願書受付は、6月末日をもって締め切られます。希望する若者が、直接各教区の召命部会にお知らせください。

- 北九州地区: 井手公平神父(門司教会)
- 福岡地区: 竹内英次神父(糸島教会)
- 佐賀地区: P. スタン神父(唐津教会)
- 熊本地区: 牧山美好神父(崎津・大江教会)
- 筑後地区: 浦川 務神父(久留米教会)

の日に備えて神学校グラウンドで練習試合を行った。また、他教区チームも「打倒福岡」を目指しての熊本結果であった。それだけに、残念な雨であった。

神の前で生と死を考える集い

②6月25日(土)17時~26日(日)15時 指導: 来住英俊神父(御受難会) 内容: 現場体験と聖書から語る

③9月10日(土)16時~11日(日)15時 指導: 来住英俊神父(御受難会) 内容: 自死の問題、教会の秘跡(特に、病者の塗油)

カトリック福岡黙想の家
カトリック御受難修道会・宗像修道院 ネットで検索 **福岡黙想の家** 検索

811-4155 福岡県宗像市名残1056 Tel 0940-32-3222 Fax 0940-32-3385

ミサ用ワイン

ワイン デ ミサ VINO DE MISA
スイートタイプ(赤)(白)

ご用命 お問い合わせは 有限会社 **大楠酒店** ヨハネ 青木 彰

〒815-0082 福岡市南区大楠2丁目4番8号 電話 092-531-4718 Fax 092-521-6453

別れ・出逢い・旅立ち

草苑

カトリックのご葬儀 互助会制度もご利用できます。

木下株式会社

TEL 092-526-5656
〒810-0016 福岡市中央区平和3丁目1-5

被災地ボランティアに参加して II

5月11日から14日まで3人の司祭を含む8人が、16日から20日まで7人がボランティアとして被災地に向かった。今回ボランティアに行った方の中から3人にその感想を述べていただいた。



「この中に入れたら…」屋根にたたずむ

という事情もある。

電気やガス、水道といったいわゆるライフ・ラインは今なお復旧しておらず、被災者は学校等の避難所で、身を寄せ合って暮らしておられた。避難所を回って、今後は、被災者の心のケアが急務であると感じられた。

家や車など物質的なものもさることながら、大切な肉親を失い、葬ることさえできない人々の悲しみや絶望感は計り知れない。

2ヶ月が経過し、大震災に対する人々の思いが日々薄れていくか見える今日、教区の皆様が今なお、どん底の苦しみの中にある方々のことを忘れることなく、援助を続け、また被災地に足を運んでくださり、遠く九州に住む私たちに何が出来ると、未長く共に考え、行動していきたい。

森山信三神父(西新教会)

報告 石巻ボランティア

仙台カテドラルにあるカリタスボランティアセンターで、私達福岡からの8人は米川ベース4人、石巻ベース4

トナム、ナイジェリア、カメルーンなどの人達が收容されています。

1年間の間に様々な出来事がありましたが、その中でクリスマスと復活祭のミサを捧げることが出来て大きな喜びを感じています。

それぞれ教会からのご協力があり、例えば長崎の高見大司教様は大村入国管理センターへ足を運び、ベトナム人の身元保証人になって下さり、飯放免が成立し、また彼に仕事を紹介して長崎カトリック

大村入局管理センターを訪ねて

人に分けられ、私たちは石巻へと向かいました。このベースは被災者の皆様にお湯をお出しすることと家屋からの泥出しの作業でした。

翌朝5時過ぎに起きて、近くの避難所になっていてる中学校へ出かけました。

すぐにポリタンクで重い水運び。5つの大きな寸胴鍋でお湯を沸し、避難者の方々が100個近くそれぞれのポットを置いて行かれるので、湧いたお湯を入れお渡しするという仕事でした。お湯出しテントはコーヒー、ココアを各自でいられるように用意するので、しばらくここでおしゃべりしたり子どもは遊んだりしていきます。



自分の家は津波で流れて土台しか無い話を話して下さる方、かつて海外まで行ったマングロ漁船の画像を見せてくだ

センターで就労しています。それから、カメルーンの方の医療のための献金を皆様にお願ひし85000円集まり、その中で彼が希望していた、頭のMRIの検査を受け

る事が出来ました。これも献金をして下さった皆様のお陰です。

大村入国管理センターの中で、東北大地震の知らせを聞いた收容者の外国人達が、自分達が苦しい立場にあるにもかかわらず、自発的に東北大

出しながら祈りました。萩本さわ子(西新教会信徒)

可能性を広げるお手伝いがある



東日本大震災の被災地ボランティアとして5月中旬の5日間、カリタスジャパンが運営する支援拠点の一つである石巻教会(宮城県石巻市)にお世話になりました。

教会近くの高台にある日和山公園から見渡す石巻市は青い海を後方に、手前は土色の瓦礫だけが広がる二色の風景でした。人が住んで生活をしてきたであろう温度や匂いを感じることはできず、舞い上がる土煙と、自衛隊の重機だけが、まるで小さな昆虫のようにそこで動き回っていました。

出会った景色と、出会った人の量だけとまらない思いが増え、伝える言葉がみつからないまま福岡に帰ってきてしまった気がします。

そんな私が今言えることは、もしも状況が許される方がいらつしゃるならば、これからすぐにでもボランティアに駆けつけて頂ければということ。増減はありますが、基本的にボランティアは足りません。暑さが本格化する前に済ませなければならぬ作業を必要とする場所がまだまだ多く、状況は深刻です。ポットにお湯を注ぐことから、側溝のヘドロをかきだすことまで、仕事の内容は様々です。

そして、どれも今日必要なことであり、また指折り数えてボランティアの到着を待つ

方々がいらつしゃいます。被災地、被災者、そしてボランティアというのは、それぞれ言葉では簡単にくくられてしましますが、一人として同じ条件の方はいらつしゃらないと今回強く感じました。

ボランティアに行く方を支えるボランティアもあるかもしれない。地域や小教区で支え合って誰か一人送り出すというようなこともできるかもしれない。それぞれの条件や生活の中から何か一つ提供することで、広がる可能性がまだどこに残っているかもしれない、そんな目線でこれからも自分自身の周りから見つめていきたいと思

大名町教会信徒 深堀愛

聖マリア学院大学と明光学園中学校・高等学校が系属校協定締結

学校法人聖マリア学院(理事長:井手三郎)が設置する聖マリア学院大学(学長:矢野正子)と、系属校法人明光学園(理事長:宮脇光子)が設置する明光学園中学校・高等学校(校長:荻木勝)が協定を締結しました。

◇教育提携開始時期
協定締結日の2011年5月30日より開始します。

カテドラルからお知らせ

カテドラルセンターで全面禁煙を試行

大名町教会では、今年7月1日から12月31日までの間、敷地内全面禁煙を試行することになりました。

この期間は、教会建物内、及び敷地内でのたばこの喫煙ができなくなります。

ご協力をお願いします。

カトリック大名町教会信徒会(会長 岩井原邦彦)

☆これからの教会のありようを考える

森一弘 著

著者はまず、「教会とはなにか」を考え、キリストが委ねられた12使徒の使命は福音を宣教することであり現代世界に福音を述べ伝えるとはどういうことかをのべます。今の日本では、政治とかかわるヒント、社会における宗教の役割などについて、常日頃キリスト者がとまどい、思い悩む問題に豊かな示唆を与えます。キリスト者がしっかりとした確信をもって教会の中で生きてゆかためにぜひ読んでいただきたいものの1冊です。

女子パウロ会発行
税込定価 1260円

お知らせ・お願い

◆震災のための祈りのリレー日時 6月11日(土) 7時30分から19時夕の祈り場所 Ⅱカトリック箱崎教会聖堂 & Ⅲカトリック箱崎教会聖堂 & Ⅳカトリック箱崎教会聖堂

祈りの内容について Ⅱ *ミサと夕の祈りはみんなです。それ以外の時間は聖堂での祈りも自由です。 *30分を1単位とし、お一人で何単位でも可能です。祈りの形式は特に定めません。 *聖堂にこれならない方は「聖堂外」でその時間を決めていただき、自由な場所でお祈りください。

*聖堂外で参加の方は、時間をBr.阿部までメールでお知らせください。(r0sabeta19ke@yahoo.co.jp)

*皆様の参加をお待ちします。絶え間なく祈りをつないでいけたらと願っています。

なんでもお問い合わせください

株式会社 ジャパン・スマイルか

代理店 福岡市 丸の内ビルディング
〒810-0044 福岡市中央区大濠4丁目9番4号
TEL 092-781-0800
http://www.info-japan.com/

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション

自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。費用は医療、介護保険でのご利用になります。

春日市上白水 5-11-102 092-517-6313
福岡プライマリケア株式会社 代表:エリザベト熊谷

総合建築業

- 一般住宅(新築・改築工事)
- 鉄骨工事
- RC工事

建築の事なら何でもお気軽にご相談ください

有限会社 **森山工務店**

ヨゼフ 森山 新太郎

福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎(092) 811-7265

木との出会い 人との出会い 神との出会い

セント・ポール FUKUOKA

キリスト教書籍・信心道具・ビデオ・DVD・CD
福岡市中央区大濠2丁目大名町カトリック教会1F
平日 AM 10時～PM 5時40分
日・祝日 AM 11時～PM 4時(休館日定休日)
TEL 092-781-0888 FAX 092-781-0861
URL http://www.pax.info.jp

ともに学び、祝い、生き、伝える家庭共同体

2011年福岡地区聖書講座

テーマ：福音 ～イエスとの出会い『マタイによる福音書』

プログラム

④7月17日「奇跡物語」 中村倫明神父(植松教会)
場所：カトリック大名町教会1階講堂
会費：1回 5000円/年間通し20000円
用意するもの：新約聖書(またはマタイ福音書)
主催：福岡地区信徒使徒協議会 聖書典部会

2011年度北九州地区聖書講座

年間スローガン：ともに学び、生活の場で伝えよう
第二回：7月10日(日)14:00～16:30
講師：杉原寛信神父(新田原教会主任司祭)
場所：カトリック小倉教会
参加費：無料
主催：北九州信徒協
問合せ先：☎093-293-4981 松尾隆

2011年 熊本地区神学講座

イエスを知り、イエスに生き、イエスを伝えよう～希望 喜びをもたらすミサ～

第2回：6月19日 食と救いー風土食(ふーど)の祈り
伊藤幸史(日本カトリック神学院養成所)
期間：毎月第3日曜日 全6回 13時半～16時半
会場：カトリック手取教会
受講料：5,000円(全6回) 部分参加は各回1,000円
申込み：手取教会(096-352-3030) 岸
主催：熊本地区神学講座実行委員会

福岡地区「第2回教会学校担当者の集い」

日時：2011年6月19日(日)14:00～17:00
場所：カテドラル大名町教会・4階会議室
*各教会の教会学校が抱えている問題点に焦点をあて、3教会のプレゼンテーション、小グループの分ち合い、全体での分ち合いという方法で進めてきます。
*参考テーマ：
①子どもたちへの教え方(信仰に対する疑問など)
②教会学校へ来ていない子どもたちへの取り組み
③家庭での信仰教育 など
主催：福岡地区信徒協 召命・信仰育成部

九州合同CLC イグナチオ 夏の霊操のご案内

期日：2011年7月10日(日)14時～7月16日(土)13時(7日間)
場所：いやしの家(行橋市下柳田291番地)
連絡先：携帯090-2586-2883 迫立季治
持参品：聖書・霊操書・ノート・筆記具・生活用品
参加費：通勤霊操10,000円 宿泊霊操28,000円
申込み：予約6月20日(参加人数掌握のため)
FAX:0930-33-2822(迫立まで)

青年黙想会

テーマ：生かす いのち
日時：6月25日(土)20時～26日(日)16時
場所：カノッサ修道女会大牟田修道院
同伴：Sr大田暁子 fdcc 参加費：1500円
申込先：Tel 0944-58-5793, Mail sis.ak@hotmail.co.jp

カテドラルでのゆるしの秘跡

日時：6月18日、7月2日 10時～12時
場所：カトリック大名町教会小聖堂

福岡教区広報室アドレス
http://fukuoka.catholic.jp
E-mail: cdf-kouhou@nifty.com

聖心の月

案内板

会合と催し

6月のこよみ

福岡黙想の家のご案内 6月

5日(日)～7日(火) 御受難会共同体的日
9日(木) 日帰り黙想会(指導：来住英俊神父)
11日(土)～12日(日) レジオ・マリエ福岡クリオ黙想会
12日(日)～13日(月) 聖マリア在俗会黙想会
14日(火)～20日(月) 個室空調設備工事のため、宿泊できません。ご了承ください。
18日(土) 福岡チエナクルム
25日(土)～26日(日) 神の前で生と死を考える集い(指導：来住神父/内容：現場体験と聖書から語る)
全日程(宿泊)1万円。全日程(通い)6千円。1日のみ参加(食事付)4千円。
〒811-4155 福岡県宗像市名残1056
☎0940・32・3222 0940・32・3385
Email: fmokuso@mvi.biglobe.ne.jp
インターネットで検索 福岡黙想の家 検索

真命山諸宗教対話・霊性交流センター

※祈りの集い
年間テーマ：典礼暦年間で教会とともに祈る
・日時：6月9日(木)10時～14時半
・内容：聖霊降臨の祭日
指導者：フランコ・ソットコルノラ神父(真命山院長)
ダニエレ・サルツィ・サルトリ神父
Sr.マリア・デ・ジョウルジ
問合せ先：真命山諸宗教対話・霊性交流センター
・次回：7月14日(木) 聖人の記念日-2
☎0968・85・3100 0968・85・3186 玉名郡和水町蜻浦1391-7・E-mail shinmeizan@chive.ocn.ne.jp

福岡
第53回福岡典礼聖歌研修会
(日時)6月5日(日)13時半
(場所)カトリック光丘教会
(テーマ)復活節後の大祝日の聖歌(講師)深堀純氏(参加費)感謝献金(事務局)092・541・3730 松山
召命祈願ミサ
(日時)6月9日(木)19時半
(場所)日本カトリック神学院福岡キャンパス
子羊会
(日時)6月16日(木)12時半
からロザリオ/13時からミサ
(場所)礼拝会修道院(福岡市中央区地行)
ザビエル合唱団練習日
(日時)6月18日(土)13時半
(場所)カトリック西新教会
(問合せ先)0800・5246・8395 橋本
在世フランシスコ会集會
(日時)6月19日(日)14時から16時(場所)高宮フランシスコ会修道院在世俗集會所
(内容)アシジのフランシスコに倣って 福音に生きるために。ミサと学習(指導)モニス・エドウィン神父(高宮教会主任)(問合せ先)☎092・843・5831 岩崎
心の健康セミナー
(日時)6月19日(日)14時から(場所)カトリック福岡黙想

想の家 ログハウス(テーマ)家族3「父と子」(指導者)小宮豊氏(精神科医師)(参加費)原則無料(自由献金)(主催)支える会(後援)紫苑COM(問合せ先)☎0940・32・1173 矢田
テレジア友の会(読書会)
(日時)6月19日(日)13時半
(場所)カルメル修道院(今宿青木)(内容)「幼いイエスの聖テレジア自叙伝」(問合せ先)☎092・807・7361
カルメル会
カルメル在世俗集會
(日時)6月20日(月)11時半
(場所)福岡女子カルメル会修道院聖堂・テレサの家(内容)ミサ・講話「完徳の道」
(大聖テレジア著)指導)カルメル会司祭問合せ先☎097・551・1360(中林)
グレゴリオ聖歌を歌う会
(日時)6月21日(火)11時場所)聖クララ寮(福岡市南区塩原)(内容)講習会(講師)Sr.平戸京(シヨファイユの幼きイエズス修道会)(問合せ先)☎096・380・5686 塚敏子
召命祈願徹夜祈禱会
(日時)6月25日(土)19時ミサから26日(日)7時ミサまで(場所)カトリック大名町教会(主催)教区召命委員会(委員長)浦川務神父

美野島司牧センター
ホームレスの方に手作りのお昼ごはん毎週火曜日10時30分
ホームレス支援夜回り
第一金曜日20時●路上からアパートに入居した方を訪問
第三日曜日13時(問合せ先)☎092・431・1419 コーシ神父
北九州
北九州召命を共に祈る会
(日時)6月9日(木)14時から(場所)カトリック小倉教会(内容)大塚新司祭の初ミサ(指導)井手公平神父(門司教会主任)(問合せ先)093・963・2359 江口
小倉祈りの集い
(日時)6月24日(金)13時半から15時(場所)カトリック小倉教会信徒会館2階(指導)ガブリエル神父(御受難修道会)(内容)「みことばを味わう」賛美と感謝の祈り(連絡先)☎090・3985・5209 松田裕子
佐賀
佐賀祈りの集い
(日時)6月4日(土)10時半～12時 毎月第1土曜日(場所)佐賀カトリック会館(内容)ミサと祈り(問合せ先)☎0952・30・8347 吉武(次回)7月2日(土)

2011年聖霊による信仰生活刷新セミナー

(日時)毎週月曜日 10時30分～12時30分
(テキスト)「新生の門出」 (場所)大名町教会1階
プログラム
⑥ 6月6日 「聖霊のうちの成長」 スメット師(トラピスチン付)
⑦ 6月13日 「キリストの変容」 ミシエル師(箱崎教会)
⑧ 6月20日 「派遣のミサ」 司式：宮原司教と司祭方
[会費]自由献金 [問合せ先]☎092-821-6349 森邦蔵

編集後記

先日、ケセン語に聖書を翻訳された山浦医師のことが放映されました。3月11日、津波が襲い山浦さんの病院も被災しました。廃墟と化したご自分の街を眺めて山浦さんは、何と「闘志が湧いてきた」と述べられました。彼は次の日から診察室の泥をかき出し、診察を再開したと言います。彼の姿と言葉の中に真のキリスト者のあり方を見たように思いました。私たちの仕事は、人々に悲しみや嘆きを運ぶことではなく、喜びと希望を運ぶことです。6月号には、被災地にボランティアが行かれた方々の体験に多くの紙面を割きました。

COSMOS
スポーツ用品・OA・文具
〒830-1224 三井郡大刀洗町鶴木67-3
TEL 0942-77-3199
代表者 ベトロ 平田 清

社会医療法人 雪の聖母会
聖マリア病院
医科・歯科臨床研修指定病院
総合産科医療センター
がん診療連携拠点病院
地域災害拠点病院
救命救急センター
*入院基本料(一般病棟)：1
〒830 8543
福岡県久留米市津福本町422
TEL0942 35 3322(代表)
FAX0942-34-3115
http://www.st-mary-med.or.jp

痛みの相談室
いくま整骨院
受付時間
平日：9:30～12:00
14:30～20:00
土曜：9:30～15:00
休診：日曜・祝祭日
福岡市西区姪浜駅南1-7-12-2F
TEL 092-884-0134
ペトロ 生熊公吉

Veni! Sancte Spiritus
あなたの光の輝きで
わたしたちを
照らしてください
6月の休業日 5・12・19・26・30
メディアによる福音宣教のために...
サンパウロ福岡宣教センター
10:00～18:00(月～土)/日・祝日休業/地下鉄赤坂駅より徒歩3分*駐車場完備
〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26 ☎092-721-2032 fax.739-3930